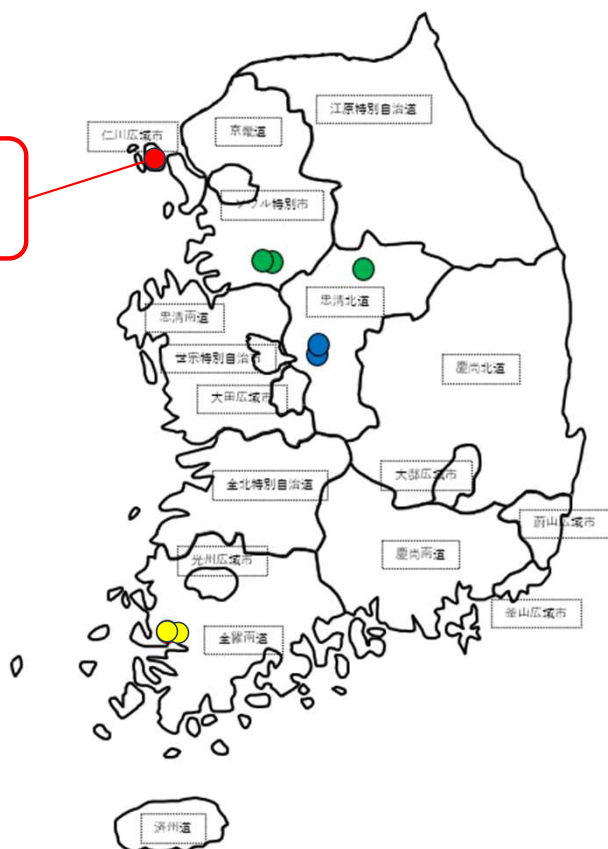


韓国の北西部で口蹄疫が発生!

韓国で9ヶ月ぶりに口蹄疫の発生が確認されました。我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

2026年1月30日
仁川広域市江華郡
牛飼養農場（246頭）



韓国における口蹄疫の発生報告状況（2026年2月2日時点）

農場における発生予防の徹底をお願いします!

- ▶ 海外渡航の自粛
- ▶ 農場における病原体侵入防止対策の徹底
- ▶ 飼養家畜の健康観察
- ▶ 異状を認めた場合の早期通報



異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018

牛飼養者の皆様へ 発生予防の徹底をお願いします！

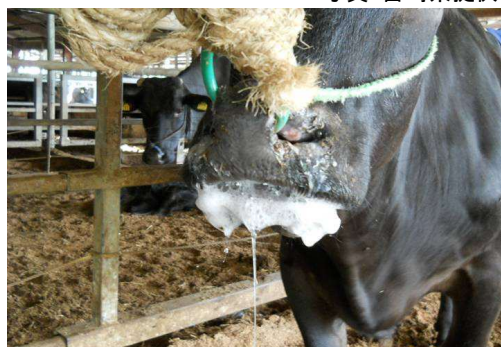
- ☐ 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- ☐ 農場の出入り時は、**専用の靴・衣服を着用し、手指を消毒**するとともに、**持ち込む物品や出入りする車両の消毒を徹底**しましょう。
- ☐ 畜舎入口での**専用靴の着用、踏込消毒槽等の設置**により、**出入りする人の靴底の消毒を徹底**しましょう。
- ☐ 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、**これらの国からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まないように**しましょう。
- ☐ **毎日、飼養家畜の健康観察を行い、疑わしい症状があれば直ぐに通報**しましょう。



口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱(水ぶくれ)**ができるのが特徴です。**

～牛の症状～

写真：宮崎県提供



＜A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果＞

写真：動物衛生研究部門提供



これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所**に**連絡**しましょう。

牛では、1頭のみに着目せず、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に広がるなど、群としての異状の有無を確認することが重要です。

豚飼養者の皆様へ 発生予防の徹底をお願いします！

- ☐ 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- ☐ 農場の出入り時は、**専用の靴・衣服を着用し、手指を消毒**するとともに、持ち込む**物品**や**出入りする車両の消毒を徹底**しましょう。
- ☐ 畜舎の出入り時は、**専用の靴・衣服を着用し、手指を消毒**するとともに、飼養管理で使用する**物品は定期的に消毒**しましょう。
- ☐ 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これらの国からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まないようにしましょう。
- ☐ **毎日、飼養家畜の健康観察を行い、疑わしい症状があれば直ぐに通報**しましょう。



口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱(水ぶくれ)**ができるのが特徴です。

～豚の症状～

写真:宮崎県提供



<A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

写真:動物衛生研究部門提供



多数の水疱病変を確認

これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所**に**連絡**しましょう。

反芻動物飼養者の皆様へ 発生予防の徹底をお願いします！

山羊・綿羊も
例外では
ありません！

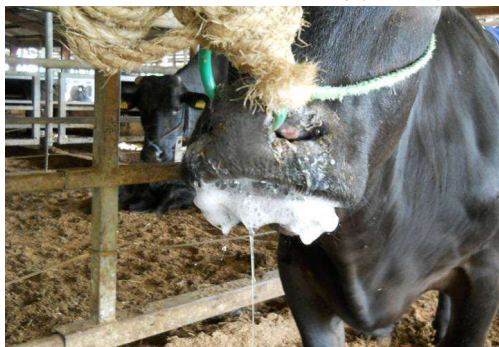
- ☐ 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- ☐ 農場の出入り時は、**専用の靴・衣服を着用し、手指を消毒**するとともに、持ち込む**物品**や**出入りする車両の消毒**を徹底しましょう。
- ☐ 畜舎の出入口に**踏込消毒槽等**を設置することにより、出入りする人の**靴底の消毒**を徹底しましょう。
- ☐ 口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控えるとともに、これらの国からの郵便物等は農場に持ち込まないようにしましょう。
- ☐ 毎日、飼養家畜の健康観察を行い、疑わしい症状があれば直ぐに通報しましょう。



口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱(水ぶくれ)**ができるのが特徴です。

～牛の症状～

写真：宮崎県提供



＜A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果＞

写真：動物衛生研究部門提供



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている

これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所**に連絡しましょう。

複数頭を飼養している場合は、**1頭のみに着目せず**、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に広がるなど、**群としての異状の有無を確認することが重要**です。